

・私は話を聞いてみて、新聞記者の仕事は、森羅万象に記事を書くことで、多くの人に分かりやすく伝えることができるのだなと思った。新聞は分かりやすくするのが一番大事だから、見出しや写真などの工夫もすることが大切だと分かった。100 行の言葉より一枚の写真の方が情報を多く発信すると聞いて驚いた。

・新聞の記事を書くときに、文だけではなく写真もとても重要だということを初めて知りました。記者になるには特に資格などがいらぬし、好きな内容について勉強すると良いというのを聞いて、自分の好きなことを活かせる職業だと思いました。

・神戸新聞について全然分からなかったことや知らなかったことがたくさんあって、今日新聞に興味を持ちました。分かりやすい言葉で、正確で簡潔に文章を書くのがポイントだと言っていたので、帰って神戸新聞を見ようと思いました。

・新聞記者の話を聞いて、火事のとてや災害のとてでもすぐにつけることを聞いて大変だなと思いました。

質問 仕事がない日はあるんですか。

・忙しい時は徹夜で仕事をするのはつらそうだなと思いました。いろいろな情報から必要なことを見つけて記事にするのはすごいなと思いました。

質問 今年で何年目ですか？

・新聞ができるまでになかなかの時間がかかるんだなと思いました。取材で外国にも行くことがあって、とてつびっくりしました。私も小学校の時、何回か新聞を作ったとき、興味を引くような見出しや新聞を書くのは難しいので、改めてすごいなと思いました。

・新聞を作るのに、コンピュータだけで作れるわけではなくて、現場まで行って取材をしないといけなくて大変だと思った。有名人に会えたりするが、被災地などに行くこともあり、いいこともつらいこともあると思った。

・私は三好さんの話を聞いて、新聞記者は取材してきたことを正確に伝えることが重要ということが分かりました。そして新聞記者の人は読者を励ます記事を作ることを心がけていることを知りました。

・私は三好正文さんの話を聞いて、有名人に会えて取材したりなどいいこともあるけど、火事や事件でのひどい現場の中で取材するのはとて大変なことだと分かりました。新聞は内容が大事だと思うから一日のほとんどが取材をすることだと思いました。

・新聞はあまり読まないけれど、改めて新聞の大切さを知りました。今はインターネットなどですぐに情報を得ることができるけれど、震災などの災害でインターネットが使えなくなった時に、いち早く情報を新聞は伝えられるし、地域の人からの信頼もあるので、新聞ってすごいと思いました。

・大変だけれどやりがいを感じられるし、有名人も会えるという嬉しいこともあるから、そこは個人的にも良いなと思います。新聞記者さんの苦勞と努力が分かって良かったです。